

実感できる政策提言を！

福島町議会議長 溝部 幸基

謹んで新年のお祝いを

申し上げます

日頃から、議会に対し温かいご理解とご協力をいただき、心から感謝とお礼を申し上げます。

長く要請してきました「地方議会の役割」、「議員の職務」等の位置付けが地方自治法に明文化され、選挙費用の公費負担も実現し、地方議会・議員の活動環境は改善されましたが、昨年八月の改選では、残念ながら町議選挙としては初めて無投票となり、九名での議会構成でスタートとなりました。

【各議員の公約（選挙公報）をホームページに掲載しております。】

新たな任期もまた、まちづくり・議会両基本条例の主旨を踏まえ、政策形成のできるだけ早い段階に議会・議員の意思を示し、提言する議会を意識し、計画・予算から決算・評価に至る各段階で政策の具現化を目指して、積極的な議会活動を展開してまいります。

令和6年度から始まる第6次総合計画については、常任委員会で主要施策の進捗状況評価・事務事業評価を実施、特別書を手交しております。

委員会の調査を経て、議会としての報告

施策の計画・提案・執行には、より慎重な精査と、説明・調整が必要で、性急な施策の執行は、町民の理解を得られません。議会としても、町民への議決責任・説明責任を果たすために、しっかり討議・提言し役割を果たしていかなければなりません。

町づくり基本条例、議会基本条例がスタートして十四年が経過しました。

両基本条例の実践課題は「住民・行政・議会の協働」ですし、協働の基本は、「伝える力」「聞く力」「つながる力」を互いに出し合い、行動（起動）することです。

議会としては、引続き町民の皆さんと情報共有できる機会を提供し、さらに「実感できる政策提言」を目指し活発な議会活動を実践してまいります。

今年も「町民と議員の懇談会」を二月二日から六日間、皆さんのお話を聞くことを中心に開催いたしますので、お誘いあわせの上、参加くださいますようお願いいたします。

コロナ感染症も未だ完全収束とはならず、ワクチン接種が続いておりますし、インフル

エンザの発症も多く、児童・生徒等、感染の低年齢化も懸念されます、引き続き「三密」を回避し、予防の徹底（手洗い・消毒・マスク着用等）を恒常化することが重要です。

町民の皆様のご多幸とご健勝を心からご祈念申し上げます、新春のご挨拶とさせていただきます。

謹んで新年の

御祝辞を申し上げます

貴家皆様のご健康とご多幸を

お祈り申し上げます

本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます

令和六年 元旦

〒049-1311

北海道松前郡福島町字福島二五七番地一

溝部 幸基

裕子

TEL (0139) 471-5311

Email: kouki.m@brown.plala.or.jp

URL: http://qualityriseinfo/kouki